



戦後読書ブームのなかの1950年代後半から1960年代前半、読書が活発だった時期

54

書評欄メモ	書評欄メモ
洋文小説「ナーチャラル」(吉川英治著)	洋文小説「ナーチャラル」(吉川英治著)
「イギリス風物詩」(いはばへの招待)	「イギリス風物詩」(いはばへの招待)
「石の夜」(久保田利政著)	「石の夜」(久保田利政著)
「イタリア美術夜話」(今だから話そぞ)	「イタリア美術夜話」(今だから話そぞ)
「メモ」	「メモ」
「書評欄」	「書評欄」

【『新刊ニュース』1958年4月号】

55

【『新刊ニュース』1958年4月号】

国立国会図書館編『雑誌記事索引』採録対象外とされた書評、つまり一般市販の週刊誌等の雑誌と普通新聞とを博搜して書評を抽出する作業の集成。

週刊誌ブームのなかの『週刊朝日』／『サンデー毎日』／『週刊読売』／『週刊サンケイ』／『週刊新潮』の書評、高度経済成長期の『朝日新聞』／『毎日新聞』／『読売新聞』／『東京新聞』の書評、読者のための財産としての書評群が五十年余を経てようやくこのに整備。

索引ではあらたにNDC二桁順で書名を排列し、さらに書名・著者名の二種からの検索を可能として読者の便を図る。

書 評 欄 メ モ

昭和30年代(1955~1962) ブックレビュー索引

* 文庫文献類従31 * 近代書誌懇話会一編

◆全1巻 総374頁

収録書評数.....15、155件

収録書数.....8、119件

収録著者名.....5、483件

造本—A5判・上製函入

刊行時期—2013年4月

価格—22,000円 9784907236-01-4

◆本書の構成.....

本文編(連載毎の書名五十音順)

分類・書名索引(NDC二桁順・書名五十音順順)

著者名索引

初出一覧

読書状況への糸口たる書評・出版された当時の読まれ方の解明につながる書評を今、指し示す

『書評の書誌 昭和30年代（1955～1962）—ブックレビュー索引』

出版大衆化・「読書の黄金時代」と伴走した「書評」欄。
「出版」という概念も転換を迫られるなか、「書評」欄を
回顧・総覧・展望する。

内容見本
(縮小)

59 書評欄メモ

赤毛のボチ	黙い廣	あすの山歌	あなたに(60)	アーヴィングの知恵	アーヴィングの知恵	アーヴィングの知恵
赤い構図	赤い構図	赤い構図	赤い構図	赤い構図	赤い構図	アーヴィングの知恵
王朝	江戸城とその付近	江戸と上総の男	江戸に就ての話	永遠の傑作	失われた時	植木枝被研究
川	火	河	口	力	力	力
59 書評欄メモ	59 書評欄メモ	59 書評欄メモ				

〔新刊ニュース〕1960年11月号

153

本文編（連載毎の書名五十音順）

収録誌『仕入れと販売』は図書館にはその所蔵がなく、また『新刊ニュース』の所蔵は散発的な状態である。発行所である東京出版販売（現・トーハン）広報室の協力により本企画は成立。

いまだ全容を一望できない主要週刊誌・新聞の書評情報を整備し、あの本がどこで書評されたか、その疑問に即答するのが本書である。高度経済成長下の書評を書誌・索引・展望する本書が、日本現代史における社会・文化研究の深化を牽引できれば幸いである。

価値ある情報資源である「書評」が読書界の公有財産として蓄積され、有効活用されんことを願って、埋もれたままの整備がなされぬ時期を対象として向後一層励みたい。

- 日本ファシズム史 167
- 問題の子と四十年 49, 52
- 日本労働運動史 31, 36
- 日本労働運動史論 195
- 日本労働組合入門 64
- 余明 219
- 人間能力の開拓 214
- 農村の恋愛・結婚 16
- 恋愛と人生実質の構造 76
- はたらく女性のあゆみ 55
- 働く女性の歴史 28
- 母子の生態 144, 149
- バーナード・マーリー 上・下 88, 94
- 犯罪の都市化 31
- 犯罪文化 76
- 犯罪を追つて 100
- HG ハーマー 1-187
- ピーナスマン退職前後の生活設計 52
- 勞働者生活と心理 31, 34
- 労働人事名鑑 70
- 労働スマイロ 97
- 貧乏研究 128, 131
- 貧乏物語 118, 121
- 大企業のすべて 159
- 福利国家の将来 1 175
- 福利国家の将来 167
- 労働組合と裁判所 55
- 労働組合入門 188, 192
- 労働者 55
- 労働者生活と心理 31, 34
- 労働人事名鑑 70
- 労働スマイロ 101
- 労働争議と争議権 20, 22
- 労働用語辞典 79
- 老齢者のための社会保険 104
- 老齢者母子の実態 85
- わかれらサリーフェン 184, 188
- 部落 上・下 152
- 部屋—藤原清喜真集 166
- 部門の歴史 上・下 149
- 部門の歴史 上・下 155
- 頭のよさ子性格のよい子 17
- 新しい音楽教室 92
- 新しい道徳教育 47, 50
- 新しい道徳教育の創造 53, 59
- 雨の日のママ 13
- 暴力社会学 205
- アメリカの大学訪問 59
- ありの一本—教育の力学 71, 74
- 家・親と子・社会 135
- 一年生誕生 123, 135
- マスクコト時代と芸術 149
- 一年生の四季 65
- 牛島青吉心理学 11
- マルクスと現代 156
- 給による児童診療法 80
- お母さまこそ最も家庭教師 165, 169
- 三井三池 156
- 見守られた老人天国 204
- 民社会主義とはなにか 164
- 民社会主義 145, 149
- おもちゃと子ども 150
- おもちゃの年ごろ 29
- 親・教師・道徳教育 98

360 社会～370 教育

分類・書名索引 (NDC二桁順→書名五十音順)

エクリプティクス, G	125
江日 滉	56, 60, 61, 63
江口 清	193
江口 緑	137, 148
江口 隆	200
江口 正武	18
江口 朴	38, 91
江口 行徳	102, 194
江口 直	219
エクリプス, A	71
エコニミスト, A	75, 78
エルソーグ, M	33, 42, 46, 64
エルリヒ・ハーデン, H	51, 76
エルシングル, I	20, 29, 30, 49, 52, 130, 133, 166, 200, 208
莫 領	141
莫 領圖	78
エグラー, A	71
エングルマ, F	172, 196
エングルス, F	14, 58
エンゾー, R	18, 20
円地 文子	46, 56, 59, 62, 70, 83, 111, 114, 123, 126, 132, 134, 138, 142, 143, 146, 147, 154, 156, 169, 187, 189, 192, 193, 197, 211, 215
江崎 駿	102
江崎 啓次郎	34, 37, 67, 70, 78, 115, 122, 166, 218
江崎 才一	172, 179
江角 純義	174
江ヶ瀬 S	71
江川 浩明	14, 166
江川 邦輔	141, 144, 148
江川 勝也	92
江川 健三	102
江川 信也	121, 135, 150, 152
江川 駿	133
江川 駿	141
江川 駿	149
江川 駿	20, 22, 62, 93, 96
江川 駿	192
江川 駿	10, 12, 50, 53, 59, 62, 108, 116, 119, 124, 145, 149, 153, 157, 170, 174
江川 駿	111
江川 駿	83
江川 駿	181, 186, 189
江川 駿	48, 174
鶴本研究刊行会	100

【お】	
小穴 一隆	12, 16, 135, 139
扇田 博元	80
扇谷 正造	30, 32, 35, 41, 47, 67, 95, 185
旺文社	75, 80, 81, 113, 147
王馬 照純	124
欧阳 文彬	95
欧阳 予倩	36
大井 節	78
大井 広介	26, 28, 59, 62, 79, 96, 119
大井 ミノフ	106, 109
大石 三四郎	171
大石 千代子	154
大石 ヨシエ	14, 15
大内 力	163, 167
大内 綜雄	31, 34
大内 兵衛	182, 186, 187, 191, 195
大浦 駿	135

276 / (99)

著者名索引

何か或る書物につき調べるにも、その本への書評を探すのはレファレンスの初歩である。

本書はいうまでもなく、膨大量的の出版物に対する評価群へのアクセスを容易にする道具として重要な意味をもつ。

†断片的ではない編集作業を経て得られた意味のあるデータの集成
†インターネット等の電子メディアでは見られない、書評の体系的データ群



『朝日新聞』(2012年6月3日)に記事が掲載されましたので、この機会にご覧ください

『書評の書誌—ブックレビュー索引』発刊のことば

書誌 (bibliography) とは、語源より解けば「書物の記述」の意である。しかし世上、本のことを書いたものと言って何より想起されるのは、書評ではないか。図書について書いて最も人目に触れるのは、広告を除けば、新聞雑誌の書評欄を指してあるまい。各人の読書に導きとなり、書店の販売や図書館での選書の参考となるのは、書評である。何か或る書物につき調べるにも、その本への書評を探すのはレファレンスの初歩である。

近代ジャーナリズム史上、書評を主とする雑誌は 1887 (明治 20) 年 8 月創刊の『出版月評』が本邦初とされる。固より、新刊紹介は新聞紙上にも場を占め、明治後期以降、各紙それぞれに特色を示した。Book review を「書評」の語で呼ぶことは漸く 1920 年代に始まり、円本流行で開幕した出版大衆化の進展につれ、いよいよ書物批評が希求された。書評紙の誕生が 1937 (昭和 12) 年 2 月の『日本讀書新聞』、敗戦後は『図書新聞』『週刊讀書人』が後続し現在に至る。『週刊朝日』の『週刊図書館』は 1951 年來、週刊誌ブームと共に各誌書評欄の新たな範例となつた。書評文を含む書物隨筆集は昭和初期には既に目立つたが、特に「ブック・レビュー」の重要性を高唱した戸坂潤の『読書法』(三笠書房、1938 年 1 月) が先駆と目される書評集は、今や「本の本」の一角を成す。斯くて出版業の盛んなるに伴つてますます書評も栄え、書かれた書物が書かれた書評を喚ぶ。全貌を把握し難いまでに累増した書き物に、より高次の書かれた物である書誌 (文献目録) を以て対処せんとするのもまた理の当然であった。

書評は多く新聞雑誌の記事として現れる。したがって国立国会図書館による「雑誌記事索引」に収拾された書評があり、それを摂取した『CiNii』(国立情報学研究所論文情報ナビゲータ) 等のデータベースでも検索可能である。但し採録誌は学会誌・紀要類を優先するため専門的な書評論文に偏り、且つ 3 ページ以上を記事採録基準とするため選定外となつた書評が少なからず存する。他方、専門紙の『図書新聞』『週刊讀書人』は満面これ書評記事、それぞれに索引も作成され、別格である。即ち、これら以外に、一般市販の週刊誌月刊誌等の雑誌と普通新聞とを博搜して書評を抽出する作業を要する。

先駆となる『日本書評解題索引月報 Japan book review index』(内田老鶴園、1959 年 3 月～ 60 年 3 月) が、1957 年分のみと

短命に終ったのは、網羅に努めたあまりの労瘁とも見られる。1970 年版に始まった『書評年報』は、紙誌数およそ 100 前後を選択してよく 30 年の間を維持し、孤軍奮闘、遂に 2000 年版を以て終刊した。書評年報刊行会・新開敏弘氏の永年の功を多とするも、それだけにこの基本ツールが絶えるのは惜しく、後継が望まれる。旬刊『出版ニュース』誌上に「新聞・雑誌書評リスト」が 1978 年 9 月上旬号以来常々と継続中ながら、毎号の分載は通覧に不便であった。これが『出版年鑑』に 2002 年版より毎年輯録となったのは歓迎すべく、『書評年報』無き空白をやや埋めるが、分類別でこそあれ B5 判 100 ページ内外にも及ぶ一覧に索引無きを憾みとする。近年はコンピューターとインターネットの普及に合せて書誌類が新たに電子メディアに転じつつあり、書評についてもメール・マガジン『書評・パブリシティ掲載情報』(ネット出版内版元ドットコム事務局→版元ドットコム有限責任事業組合) が 2009 (平成 21) 年 3 月より無料にて毎週配信中である。採録範囲は新聞のみなるも、五大紙 (2010 年 5 月以降、東京新聞／中日新聞も追加) の書評欄を無署名の寸評紹介まで記載する。そのデータは、2011 年 10 月に公開されたウェブサイト『書評ニュース』にて検索機能が附された。

インターネットは速報性・即時性に優れる分、後から見返す一覧性や保存性では依然、紙媒体に長がある。書評の書誌を冊子体で提供する意義は猶存する。電子書籍によって「出版」の概念も揺らぐ刻下、書評欄を総覧することは時代の記録ともなる。よってここに、『書評の書誌』発刊を企てた。上述した諸種の先例に鑑み、就中、『出版ニュース』と『書評・パブリシティ掲載情報』とを併せて双方の短を補完することを期するものである。いまだ全容を一望できない主要新聞・週刊誌に文藝誌など月刊誌をも足して書評情報を整備し、書名・著者名・評者名の索引三種を用意して読者の便を図った。どんな本を誰がどこで書評したか、その疑問に即答するのが本書である。価値ある情報資源である「書評」が読書界の公有財産として蓄積され、有効活用されることを願つて、微力ながら、年刊として向後一層の充実に励みたい。大方の御支持を得られれば幸甚である。

書評の書誌

書評の書誌 昭和30年代 (1955~1962) —ブックレビュー索引

全一巻 総374頁 (総書評数15,155件)

編 者—近代書誌懇話会

刊行時期—2013年4月

価 格—22,000円 ISBN9784907236-01-4

構成……

本文編 (連載毎の書名五十音順)

分類・書名索引 (NDC二桁順>書名五十音順順)

著者名索引

初出一覧

資料構成……

一、「ブック・レビュー・ガイド」

(『仕入れと販売』1956年1月1・15日号~6月15日号)

二、「書評欄御案内」

(『新刊ニュース』1957年7月1日号)

三、「書評欄メモ」

(『新刊ニュース』1957年8月1日号~1962年3月号)

編 著 者 紹 介

近代書誌懇話会 (きんだいしょしこんわかい)

日本の近代における書誌を中心とした諸問題を評議する有志の集まり。国立国会図書館・大学図書館司書、大学教員、出版史研究者、編集者らからなる。近代書誌学のためのシンクタンクとして資料調査とその整備に努めつつある。



書評の書誌 2012 —ブックレビュー索引

上巻 人文・社会・自然編 (書評数4,632件)

下巻 文学・芸術・児童編 (書評数4,500件)

総624頁 (総書評数9,132件)

編 著 者—近代書誌懇話会

刊行時期—2012年11月

価 格—30,000円 ISBN9784907789-99-2



2011年～
年刊

書評の書誌 2011 —ブックレビュー索引

上巻 人文・社会・自然編 (書評数4,669件)

下巻 文学・芸術・児童編 (書評数4,804件)

大澤聰「書評の未来

—『書評の書誌 2011』に寄せて」

総624頁 (総書評数9,473件)

編 著 者—近代書誌懇話会

刊行時期—2012年2月

価 格—30,000円 ISBN9784907789-85-5



図版はすべて本書より